

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																															
1. 農業委員会費	<p>農業委員は知識と資質の向上に努めるべく研修を毎年行っているが、本年は道内視察研修を11月18日から19日まで農業委員13人の参加で実施した。また、遊休農地の発生防止に向けて農業委員と事務局職員による「農地パトロール」を11月13日に実施した。</p> <p>1. 農業委員会開催実績 平成27年4月～平成28年3月まで 12回</p> <p>2. 審議</p> <table border="1" data-bbox="376 562 1433 1193"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>件数</th> <th>面 積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">農 地 法</td> <td rowspan="2">譲 渡</td> <td>贈 与 (3条)</td> <td>2</td> <td>26.4</td> </tr> <tr> <td>売 買 (3条)</td> <td>1</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">貸 借 (3条)</td> <td>8</td> <td>172.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農地転用</td> <td>4 条</td> <td>2</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>5 条</td> <td>8</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>一時転用</td> <td>1</td> <td>19.7</td> </tr> <tr> <td colspan="2">そ の 他 (3条)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農業経営 基盤強化 促進法</td> <td rowspan="2">所 有 権 移 転</td> <td>売 買</td> <td>10</td> <td>30.9</td> </tr> <tr> <td>贈 与</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貸 借</td> <td>貸 貸 借</td> <td>119</td> <td>571.7</td> </tr> <tr> <td>使用貸借</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">現 況 証 明</td> <td>10</td> <td>1.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 委員会決定事項に基づく活動状況 (1) 農用地利用調整協議会活動 (実人数)</p> <table border="1" data-bbox="376 1294 1433 1476"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>譲渡・貸人</th> <th>譲受・借人</th> <th>面 積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所有権関係</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>30.9</td> </tr> <tr> <td>貸借権関係</td> <td>34</td> <td>98</td> <td>571.7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>41</td> <td>107</td> <td>602.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 嘱託登記 ○ 住所変更 1件 ○ 所有権移転 6件</p> <p>(3) 小委員会等活動状況 ○ 農地小委員会 7回 ○ 農業振興小委員会 3回</p> <p>4. 主要業務実績 (1) 農地等一括生前贈与に係る税金関係・新規申請 ①贈与税納税猶予(暦年課税) 1件 ②不動産取得税徴収猶予 1件</p> <p>(2) 農地等一括生前贈与に係る税金関係・継続申請</p> <table border="1" data-bbox="485 1892 1398 2045"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>猶予税額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①贈与税納税猶予</td> <td>15件</td> <td>29,603,000円</td> </tr> <tr> <td>②不動産取得税徴収猶予</td> <td>24件</td> <td>2,198,700円</td> </tr> </tbody> </table>			区 分		件数	面 積 (ha)	農 地 法	譲 渡	贈 与 (3条)	2	26.4	売 買 (3条)	1	4.8	貸 借 (3条)		8	172.1	農地転用	4 条	2	0.9	5 条	8	3.8	計	10	4.7	一時転用	1	19.7	そ の 他 (3条)		—	—	農業経営 基盤強化 促進法	所 有 権 移 転	売 買	10	30.9	贈 与	—	—	貸 借	貸 貸 借	119	571.7	使用貸借	—	—	現 況 証 明		10	1.9	区 分	譲渡・貸人	譲受・借人	面 積 (ha)	所有権関係	7	9	30.9	貸借権関係	34	98	571.7	計	41	107	602.6		件数	猶予税額	①贈与税納税猶予	15件	29,603,000円	②不動産取得税徴収猶予	24件	2,198,700円
区 分		件数	面 積 (ha)																																																																													
農 地 法	譲 渡	贈 与 (3条)	2	26.4																																																																												
		売 買 (3条)	1	4.8																																																																												
	貸 借 (3条)		8	172.1																																																																												
	農地転用	4 条	2	0.9																																																																												
		5 条	8	3.8																																																																												
		計	10	4.7																																																																												
		一時転用	1	19.7																																																																												
そ の 他 (3条)		—	—																																																																													
農業経営 基盤強化 促進法	所 有 権 移 転	売 買	10	30.9																																																																												
		贈 与	—	—																																																																												
	貸 借	貸 貸 借	119	571.7																																																																												
		使用貸借	—	—																																																																												
現 況 証 明		10	1.9																																																																													
区 分	譲渡・貸人	譲受・借人	面 積 (ha)																																																																													
所有権関係	7	9	30.9																																																																													
貸借権関係	34	98	571.7																																																																													
計	41	107	602.6																																																																													
	件数	猶予税額																																																																														
①贈与税納税猶予	15件	29,603,000円																																																																														
②不動産取得税徴収猶予	24件	2,198,700円																																																																														

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																										
	<p>(3) 諸証明事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 不動産取得税特別控除に係る証明 5件 ○ 登録免許税軽減措置に係る証明 5件 ○ 譲渡所得税特別控除に係る証明 6件 ○ 営農証明 16件 <p>(4) 農地パトロール 11月13日に全町パトロールを実施した。</p> <p>(5) 農業委員視察研修 とき 11月18～19日 ところ 札幌市、北広島市 第1日目は、札幌市で、全道グリーンアドバイザー研修会に参加し、農業後継者の婚活と支援法をテーマとした「異性にもてるコミュニケーション力」の講演後、地域の活動事例報告を受け、配偶者対策の効果的な推進について研鑽した。 第2日目は、北広島市で大消費地に隣接する農山漁村6次産業化を図っている先進地として、ホクレンくるるの杜で、農地取得を含めた設立経過と現状・今後の経営戦略について説明を受け質疑意見交換後、圃場及び関連施設と作業状況を視察した。</p> <p>(6) 農業者年金推進事業 代議員会 4月3日 庁議室</p>																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="width: 15%;">区 分</th> <th rowspan="3" style="width: 15%;">加 入 者 数 (被保険者)</th> <th colspan="5">受給者数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2" style="width: 5%;">計</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">新制度</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">旧制度</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">老齢年金</th> <th style="width: 10%;">特例付加</th> <th style="width: 10%;">老齢年金</th> <th style="width: 10%;">移譲年金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年度新規</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>27年度末実績</td> <td style="text-align: center;">220</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">228</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">99,526,701円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	加 入 者 数 (被保険者)	受給者数					計	新制度		旧制度		老齢年金	特例付加	老齢年金	移譲年金	27年度新規	31	12	4	2	3	3	27年度末実績	220	300	25	17	30	228	支給額		99,526,701円				
区 分	加 入 者 数 (被保険者)	受給者数																																									
		計	新制度		旧制度																																						
			老齢年金	特例付加	老齢年金	移譲年金																																					
27年度新規	31	12	4	2	3	3																																					
27年度末実績	220	300	25	17	30	228																																					
支給額		99,526,701円																																									
	<p>(7) 農業担い手支援協議会の活動状況</p> <p>①第22回北海道十勝農業青年との交流会 本町から1人の青年が参加し、北十勝4町の青年と関西近郊女性との交流会の場を設けた。 とき 11月28日(土)～29日(日) ところ 大阪市 ブラッセリーブー 参加人数 男性6人 女性6人 主催：北十勝四町(鹿追町、士幌町、上士幌町、音更町) ※第21回(平成26年度事業)参加青年が、平成28年3月に入籍した。 「北海道十勝農業青年との交流会成婚者数」</p>																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">実施年・場所</th> <th style="width: 10%;">町名</th> <th style="width: 10%;">士幌</th> <th style="width: 10%;">上士幌</th> <th style="width: 10%;">音更</th> <th style="width: 10%;">鹿追</th> <th style="width: 10%;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H2～4年 帯広北海館</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>H6～27年 関西交流会</td> <td></td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">※7.5</td> <td style="text-align: center;">29.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">7.5</td> <td style="text-align: center;">31.5</td> </tr> </tbody> </table>						実施年・場所	町名	士幌	上士幌	音更	鹿追	計	H2～4年 帯広北海館		1	—	1	—	2	H6～27年 関西交流会		8	5	9	※7.5	29.5	計		9	5	10	7.5	31.5									
実施年・場所	町名	士幌	上士幌	音更	鹿追	計																																					
H2～4年 帯広北海館		1	—	1	—	2																																					
H6～27年 関西交流会		8	5	9	※7.5	29.5																																					
計		9	5	10	7.5	31.5																																					
	<p>※印は交流会参加女性が交流会不参加の青年と成婚</p> <p>②十勝四町ふれあいパーティーinSapporo 他町の事情により、本年は中止となった。</p> <p>③第2回ALLとかち札幌交流会 平成26年度に新設した枠組みで札幌圏女性との交流の場を設け、本町から1人の青年が参加した。 とき 平成28年1月30日(土) ところ 札幌市 TKP札幌ビル アパホテル 参加人数 男性12人 女性11人</p>																																										

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
	<p>主催：十勝6町（清水町、音更町、士幌町、上士幌町、池田町、大樹町）</p> <p>④十勝交流会 ・十勝四町ふれあいパーティー 平成24年度に十勝圏を対象にした事業を四町で設け、実施していたが、本年度から実施が困難となり中止とした。</p> <p>⑤第13回帯広交流会（町単独開催） J A士幌町青年部が異業種交流会として、企画に工夫を凝らして十勝管内独身女性と交流を深めた。 と き 11月21日（土） と ころ 帯広市 ダイニングレストラン十勝農園 参加人数 男性10人 女性11人 ※第9回（平成23年度事業）参加の青年が、平成28年2月に入籍した。 帯広交流会での成婚は3組となった。</p> <p>⑥農業担い手成婚者 ・第6回農業担い手パートナー「バス遠足」 と き 7月16日（木） と ころ よつ葉乳業十勝主管工場 参加人数 若妻14人、女性役員4人 ・道外成婚者「茶話会」 と き 11月25日（水） と ころ とらや 参加人数 若妻4人、女性役員4人</p> <p>⑦個別推進 農業青年と結婚希望女性で1対1等の会食の場を5回行った。 平成27年12月5日（土） 畑作青年35歳2名・女性30歳、28歳 帯広市内で夕食 平成28年2月10日（水） 畑作青年35歳・女性30歳 帯広市内で昼食 〃 2月19日（金） 畑作青年35歳・女性32歳 音更町で夕食 〃 2月21日（日） 畑作青年31歳・女性28歳 音更町で夕食 〃 2月26日（金） 畑作青年29歳・女性30歳 音更町で夕食</p> <p>⑧農村生活体験希望者活動 本年度は、応募はなかった。</p> <p>⑨各種研修 ・講演会（町単独開催） 5回目となる農業担い手と親を対象にした講演会は、STVラジオ編成制作部パーソナリティ工藤準基氏を講師に迎え開催した。 と き 平成28年2月8日（月） と ころ J A士幌町2階会議室 演 題 男と女 十人十色 違いを楽しもう 参加人数 94人</p>
2. 農業振興費	<p>1. 概要 平成27年度の農業を顧みると、年明けから積雪が少なく土壌凍結の深い年となり、春作業の遅れが懸念されたが4月の気温上昇と適度な降雨により地下凍結も緩み、各作物とも順調な植え付け開始となった。その後5月の降霜、強風や6月の干ばつ等による部分的な被害の発生はあったが、昨年のような甚大な被害には至らず、7月下旬から8月にかけての降雨により各作物とも息を吹き返し、平年を上回る生育となった。 特に小麦については、干ばつによる細麦や、収穫時期の降雨による品質の影響も懸念されたが、過去最高の収穫となったほか、畜産を含めた全体の生産額は史上最高の424億円となった。 農業を取り巻く情勢は、5年間にわたり協議を重ねてきたTPP交渉が10月5日に大筋合意されるなど、農政は大きな転換期を迎えている。</p>

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績											
	<p>こうした中で、本町農業の持続的な発展を図るためには、需給動向を踏まえた計画的な作付けや生産コストのなおい層の低減、食の安全・安心の確保と環境負荷の軽減など環境と調和のとれた農業生産により、消費者等の信頼を得ていく取り組みが必要である。</p> <p>このため、足腰の強い農業・農業者の育成を図るべく、各種町単独事業の継続的な実施及び各種補助事業の積極的な活用をはじめ、施設等整備に対する長期低利子融資制度の活用、関係機関と連携した各種施策の推進など農業の振興を図った。</p>											
	2. 農業の動向											
	(1) 農家数の動向										(単位：戸)	
	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H17	H12	H7	H2	S60	
	農家数	377	377	380	383	387	394	414	449	496	517	531
	※農林業センサス数値（H23以降は産業振興課調べ）											
	(2) 主要畑作物の作付け動向										(単位：ha、kg/10a)	
	馬鈴薯	てん菜	大豆	小豆	菜豆	小麦	スイートコーン					
	平成27年	2,076	2,210	551	806	536	2,440	597				
	平成26年	2,110	2,130	385	954	499	2,530	601				
	平成25年	2,120	2,140	329	954	448	2,570	594				
	平成24年	2,111	2,110	383	871	428	2,590	602				
	平成23年	2,112	2,160	338	863	471	2,640	578				
	平成22年	2,150	2,230	270	777	549	2,610	571				
	平成17年	2,067	2,360	426	910	614	2,451	439				
	平成12年	2,539	2,345	293	879	513	2,352	443				
	平成7年	2,800	2,361	126	791	615	2,104	406				
	平成2年	2,990	2,315	109	585	612	2,492	312				
	昭和60年	3,200	2,283	223	602	421	2,243	146				
	平成27年反収	4,097	6,420	287	333	275	710	1,602				
	平年反収	3,756	5,891	264	258	171	443	1,424				
	指 数	109	109	109	129	161	160	113				
	3. 農業振興対策事業の実施状況											
	国・道費を伴う補助事業の積極的な活用による農業振興を推進しているが、本年度											
	においては、強い農業づくり事業補助金等により地域活性化に向けた事業を実施した。											
	(1) 強い農業づくり事業補助金										(単位：円)	
	事業区分	事業内容						事業費	補助金			
	① 整備事業	経営体育成支援事業 ・農業用機械等の導入（30戸：38台）						229,623,004	63,608,000			
	(2) その他国・道費等を伴う補助事業等										(単位：円)	
	事業種目名	事業内容						事業費	補助金			
	① 農業経営基盤強化 資金利子補給事業	スーパーL資金借入農家への 一部利子補給						8,928,762	4,464,465			
	② 経営所得安定対策 直接支払推進事業	経営所得安定対策の実施に係 る事務費補助						521,819	450,000			
	③ 青年就農給付金 事業（経営開始型）	新規就農者の経営が安定する まで最長5年間、給付金を給付						3,000,000	3,000,000			

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																			
	<p>(3) 町単独補助事業等</p> <p>①農畜産物対策実行委員会負担金 210,000円</p> <p>②農業後継者就農激励会負担金 79,912円</p> <p>③農業振興対策本部助成金 960,095円</p> <p>④農民組織運営活動助成金 1,400,000円</p> <p>⑤農業担い手支援協議会活動助成金 910,000円</p> <p>⑥コントラ会事業助成金 150,000円</p> <p>⑦アグリ研究グループ活動助成金 427,000円</p> <p>⑧循環型農業システム検討会活動助成金 28,528円</p> <p>⑨家畜糞尿バイオガスプラント整備推進助成金 2,558,000円</p> <p>4. 農業後継者関係</p> <p>(1) 新規就農農業後継者調べ</p> <table border="1" data-bbox="368 701 1445 801"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H26</th> <th>H25</th> <th>H24</th> <th>H23</th> <th>H22</th> <th>H21</th> <th>H20</th> <th>H19</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 農業後継者結婚実績</p> <table border="1" data-bbox="368 837 1445 938"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H26</th> <th>H25</th> <th>H24</th> <th>H23</th> <th>H22</th> <th>H21</th> <th>H20</th> <th>H19</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 農業担い手未婚者調べ</p> <table border="1" data-bbox="368 974 1445 1072"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>30才未満</th> <th>30～34</th> <th>35～39</th> <th>40～44</th> <th>45～49</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>37</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table>										年度	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	人数	7	9	8	8	8	7	8	3	10	13	年度	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	組	10	5	8	7	6	3	9	7	6	9	年齢	30才未満	30～34	35～39	40～44	45～49	計	人数	37	12	15	10	7	81
年度	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18																																																										
人数	7	9	8	8	8	7	8	3	10	13																																																										
年度	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18																																																										
組	10	5	8	7	6	3	9	7	6	9																																																										
年齢	30才未満	30～34	35～39	40～44	45～49	計																																																														
人数	37	12	15	10	7	81																																																														
3. 農業振興基金運用事業費	<p>1. 運用事業実績</p> <p>(1) 一般基金</p> <table border="1" data-bbox="368 1173 1412 1787"> <thead> <tr> <th></th> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>金 額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">歳入</td> <td>基金利子収入</td> <td></td> <td>36,977,503</td> </tr> <tr> <td>基金繰入金</td> <td></td> <td>40,738,134</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>77,715,637</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">歳出</td> <td>海外農業研修視察事業</td> <td>海外視察研修経費助成</td> <td>7,640,000</td> </tr> <tr> <td>産業担い手確保育英事業</td> <td>農大研修経費助成</td> <td>500,000</td> </tr> <tr> <td>農薬空袋処理事業</td> <td>農薬空容器処理経費助成</td> <td>329,000</td> </tr> <tr> <td>農業廃棄物処理事業</td> <td>農業用廃^ラ処理経費助成</td> <td>2,064,000</td> </tr> <tr> <td>農業女性研修事業</td> <td></td> <td>19,880,000</td> </tr> <tr> <td>基幹作物輪作維持支援事業</td> <td>ポテトハーベスター導入助成 ※他町費 11,358,756円</td> <td>17,038,134</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td></td> <td>30,238,783</td> </tr> <tr> <td>運営費</td> <td>報酬・旅費</td> <td>25,720</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td>77,715,637</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>年度末基金残高</td> <td>459,665,492円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 特別基金</p> <p>1号基金</p> <p>基金利子収入 12,827,947円</p> <p>年度末基金残高 877,212,981円</p> <p>2号基金</p> <p>基金利子収入 849,535円</p> <p>年度末基金残高 58,093,760円</p> <p>1号基金+2号基金 935,306,741円</p>											項 目	内 容	金 額 (円)	歳入	基金利子収入		36,977,503	基金繰入金		40,738,134	計		77,715,637	歳出	海外農業研修視察事業	海外視察研修経費助成	7,640,000	産業担い手確保育英事業	農大研修経費助成	500,000	農薬空袋処理事業	農薬空容器処理経費助成	329,000	農業廃棄物処理事業	農業用廃 ^ラ 処理経費助成	2,064,000	農業女性研修事業		19,880,000	基幹作物輪作維持支援事業	ポテトハーベスター導入助成 ※他町費 11,358,756円	17,038,134	積立金		30,238,783	運営費	報酬・旅費	25,720		計		77,715,637			年度末基金残高	459,665,492円											
	項 目	内 容	金 額 (円)																																																																	
歳入	基金利子収入		36,977,503																																																																	
	基金繰入金		40,738,134																																																																	
	計		77,715,637																																																																	
歳出	海外農業研修視察事業	海外視察研修経費助成	7,640,000																																																																	
	産業担い手確保育英事業	農大研修経費助成	500,000																																																																	
	農薬空袋処理事業	農薬空容器処理経費助成	329,000																																																																	
	農業廃棄物処理事業	農業用廃 ^ラ 処理経費助成	2,064,000																																																																	
	農業女性研修事業		19,880,000																																																																	
	基幹作物輪作維持支援事業	ポテトハーベスター導入助成 ※他町費 11,358,756円	17,038,134																																																																	
	積立金		30,238,783																																																																	
運営費	報酬・旅費	25,720																																																																		
	計		77,715,637																																																																	
		年度末基金残高	459,665,492円																																																																	

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績			
	2. 不動産保有の明細 (一般基金)			
	住 所	地 目	面 積 (㎡)	
	白老郡白老町字石山 109 番地 16	原 野	25, 893	
	" 109 番地 18	"	15, 460	
	" 109 番地 36	"	3, 360	
	計		44, 713	
	苫小牧市字植苗 112 番地 2	山 林	97, 964	
	" 112 番地 6	"	17, 507	
	計		115, 471	
	(特別基金)			
住 所	地 目	面 積 (㎡)		
苫小牧市字美沢 1 番地 3	山 林	53, 144		
" 1 番地 5	"	13, 008		
" 1 番地 6	"	11, 147		
" 1 番地 7	宅 地	1, 417. 19		
計		78, 716. 19		
4. 農業振興人材育成基金 運用事業費	運用事業実績			
	歳入	項 目	内 容	金 額 (円)
		基金利子収入		1, 426, 496
	基金繰入金		0	
	計		1, 426, 496	
	歳出	文化交流学生派遣事業負担金	交流学生派遣 ※他町費 2, 418, 000 円	582, 000
		人材育成団体活動助成	士幌啓明塾活動助成	150, 000
		農協青年・女性部研修講座等 受講助成	農協青年・女性部研修助成	135, 000
農業後継者等海外研修助成金 積立金		海外研修助成	250, 000	
運営費		報酬・旅費	300, 496	
計		9, 000		
年度末基金残高 138, 416, 963 円				
5. 畜産業費	<p>1. 概要</p> <p>本町の生乳生産量は、89, 282トンとなり、2年続けて過去最高の記録を更新し、初の90, 000トンに近づいた。これはデントコーンやサイレージの品質が良好であることも影響し、前年対比104. 3%の高い実績となった。</p> <p>生乳販売高については、乳価値上げにも後押しされた結果85億円を超え、これについても2年続けて史上最高額を更新し、畜産物販売高が300億円突破の大きな原動力となった。現在の搾乳戸数は68戸で厳しい環境下ながらも搾乳中止者分をカバーした結果、前年を上回り、需要が逼迫してバター不足が社会問題化する中で、生乳を安定供給する産地の責任を果たせた年となった。</p> <p>しかしながら、10月5日には5年間協議してきたTPP協定が大筋合意され、肉牛の段階的関税削減により肉牛産地への影響は甚大なものと想定される。乳製品についても輸入枠が段階的に拡大するなど酪農・畜産にとっても甚大な影響が想定される結果となった。また、農協系統外へ生乳出荷する道内酪農家の増加、指定団体制度廃止の提言など、国内外で安心して生乳を生産するための土台が大きく揺らいだ。</p> <p>肉牛生産については、国産の赤身指向がクローズアップされたことで出回り不足と</p>			

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績				
	<p>円安による輸入牛肉の割高感、諸外国の輸入量増加などが影響し、枝肉市場価格が稀にみる高値で推移しているものの、乳用種肥育素牛の出回り不足による素畜費の高騰と配合飼料を含む諸資材の高止まりが依然続いている。</p> <p>国の高収益型畜産体制構築事業を活用するため、土幌町酪農畜産クラスター協議会を設置し、来年度に向けて、産地の取組項目や収益向上目標等の計画を策定した。</p> <p>また、隣国の韓国において1月上旬に8ヶ月ぶりとなる口蹄疫が再発し、他の東アジア諸国でも発生が続いていることから、防疫体制の強化に努めなければならない。また、十勝管内における家畜の監視伝染病発生状況も依然として高い比率で発生しているため、今後とも十勝家畜保健衛生所との連携のもと、蔓延を最小限に抑える取り組みが必要である。</p> <p>畜産振興としては、乳牛検定事業、酪農ヘルパー事業及び各種団体に対する助成を行った。</p>				
	<p>2. 家畜飼養頭数 (単位：頭)</p>				
	家畜の区分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
乳	牛	20,714	19,458	18,554	18,954
ホ	ル	31,669	33,706	37,388	38,495
	雄	21,422	20,210	13,256	12,237
肉用種	(F1)	715	872	863	1,244
黒	毛	69	58	50	59
	和	74,589	74,304	70,111	70,989
計	牛				
馬					
	計				
	<p>3. 農家戸数 (単位：戸)</p>				
	農家区分	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
搾	乳	68	69	71	75
肉	牛	43	41	42	43
	農				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				
	家				

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績					
	7. 畜産振興助成金等事業 (単位：円)					
	事 業 名					金 額
	乳牛検定事業活動助成金					1,680,000
	酪農振興協議会活動助成金					105,000
	肉牛振興会活動助成金					56,000
	馬事振興会活動助成金					28,000
	酪農ヘルパー事業助成金					1,850,000
	家畜品評会事業助成金					168,000
	8. 酪農振興基金事業運用実績 (単位：円)					
		項 目		内 容		金 額
歳入	基金利子収入				363,619	
	計				363,619	
歳出	酪農振興基金運用委員会運営費		委員報酬		21,000	
	〃		委員費用弁償		2,520	
	酪農ヘルパー事業助成金		酪農ヘルパー事業助成		340,099	
	計				363,619	
年度末基金残高 250,617,000 円						
6. 土地改良事業費	1. 土地改良事業関係					
<p>土地基盤整備の実施により農業生産性の向上と経営基盤の強化を図るため、主に暗渠排水及び石礫除去等の圃場整備を優先し、併せて、営農の基本となる湿害防止のための明渠排水、農道整備を実施した。</p> <p>団体営事業では、農道整備事業3地区（上居辺、中士幌、士幌南）の調査設計を実施した。</p> <p>道営事業では、農地整備事業継続5地区（西上第2、士幌北部、上居辺第2、士幌佐倉第2、士幌地区（単独営農用水））及び草地整備事業1地区（新田地区）の実施及び士幌南部第2地区の調査計画を実施した。</p> <p>国営事業では、かんがい排水事業継続2地区（富秋士幌川下流地区、士幌西部地区）を実施した。各事業の実施状況は次のとおりである。</p>						
<p>(1) 団体営事業 () 前年度</p>						
	事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別	補助額 (千円)
農道整備	上居辺		調査設計	(0)	新	-
			一式	19,284		
	中士幌		調査設計	(0)	新	-
一式	10,077					
士幌南		調査設計	(0)	新	-	
一式	9,456					
小規模土地改良	新栄		排水路	(9,828)	新	4,000
			L=279m	11,696		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績				
	(2) 道営事業			() 前年度	
事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別	補助率 (%)
道 営 農 地 整 備	西 上 第 2	排水路 L=1,228m 区画整理 A=23.8ha 暗渠排水 A=12.1ha 石礫除去 A=10.2ha 調査設計 一式	(54,648) 155,538	継	国・道 80
	士 幌 北 部	石礫除去 A=3.3ha	(143,000) 6,980	継	〃
	上 居 辺 第 2	農 道 L=2,092m 区画整理 A=11.7ha 暗渠排水 A=37.8ha 石礫除去 A=2.2ha	(409,391) 245,393	継	〃
	士 幌 佐 倉 第 2	調査設計 農 道 一式 排水路 一式 区画整理 一式 暗渠排水 一式 石礫除去 一式	(2) 49,475	継	〃
	士 幌 (営)	調査設計 一式	(0) 69,212	継	国・道 72.5
	士 幌 南部第 2	調査計画 一式	(0) 0	新	道 100
道 営 草 地	新 田	造成改良 A=99.6ha 機械購入 一式 調査設計 一式	(196,130) 97,571	継	国・道 75

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績					
計			農 道 L=2,092m 区画整理 A=35.5ha 暗渠排水 A=49.9ha 石礫除去 A=15.7ha 造成改良 A=99.6ha 機械購入 一式 調査設計 排水路 一式 区画整理 一式 暗渠排水 一式 石礫除去 一式	(905,696) 624,169		
	(単位：千円)					
負担内訳	国・道補助金	北電等	地元負担金	うち町負担金 (PU助成含む)		
	(715,389) 489,265	(0) 0	(191,106) 134,903	(111,014) 67,585		
(3) 食料供給基盤強化特別対策事業 担い手農家の育成・確保に向けた生産基盤の整備を促進するため、国(促進費)及び道と市町村が連携して農家負担を軽減した。負担割合及び負担額は次のとおりである。						
道営農地整備	地元負担	うち農家負担	うち促進費	うち道負担	うち町負担	
	20%	7.5%	6.25%	3.125%	3.125%	
負担額(千円)	43,798	16,427	13,251	7,060	7,063	
(4) 国営かんがい排水事業 富秋土幌川下流地区調査設計・用地補償・工事 事業費 398,151千円 土幌西部地区調査設計・用地補償・工事 事業費 298,589千円						
2. 町単独事業として実施した事業 明渠排水路維持工事として、吉野北地区明渠排水ほかを実施した。 20,889千円(14,429千円)						
3. 多面的機能支払交付金事業 平成19年度から実施している農地・水・環境保全向上対策事業は、平成24年度より農地・水保全管理支払交付金事業、平成26年度より多面的機能支払交付金事業として町内農村部全9地区が共同活動を行った。						

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績					
	地区名	農用地面積 (h a)	交付金 (千円)	うち町負担 (千円)		
	西 上	1,399.10	14,730	3,682		
	上居辺	2,600.45	33,929	8,482		
	中士幌	929.33	10,977	2,744		
	士幌南	2,010.63	24,893	6,223		
	佐 倉	1,502.53	12,371	3,093		
	士幌北	1,510.04	18,191	4,548		
	下居辺	1,118.96	9,455	2,364		
	北 中	1,733.90	10,782	2,695		
	新 田	1,643.19	8,854	2,214		
	計	14,448.13	144,182	36,045		
7. 農地利用集積円滑化事業基金運用事業費	1. 事業による管理地					
	管理件数	面積 (㎡)	取得価格 (㎡)	利子補給金 (㎡)	管理費 (円)	
	平成27度末管理地	25	1,623,098	229,078,651	3,668,566	417,760
	平成27年度指定管理地	2	82,655	22,271,741		
	2. 運用事業実績					
		項 目	内 容	金 額 (円)		
	歳入	基金利子収入		4,466,615		
		運用益金		6,934,609		
		計		11,401,224		
	歳出	管理費補助・利子補給金		4,086,326		
		積立金		7,291,778		
		運営費	報酬・旅費	23,120		
		計		11,401,224		
	年度末基金残高		289,216,682円			
8. 林業振興費	1. 民有林振興対策事業					
	<p>林業を取り巻く情勢は、木材価格の低迷など森林所有者の林業に対する関心は低下している。一方、森林の二酸化炭素吸収による地球温暖化防止や地球にやさしい循環資源である木材利用の拡大など森林・林業に対する期待が高まっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、国や道による各種施策が展開され、管内の市町村や林業事業体で「緑の産業再生プロジェクト十勝推進委員会」を組織して森林整備や林業再生の施策が取り組まれた。本町でも関係機関と連携して林業の振興や民有林の整備を推進した。</p>					
	(1) 未来につなぐ森づくり推進事業					
	<p>伐採後の確実な植林等を実施することにより、森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能の発揮をするため植栽事業の経費の一部を補助した。</p>					
	事業種	事業量	造林実施者への補助金	うち道補助金		
	造 林	37.33ha	6,066,832円	3,733,421円		
	準備地拵	15.73ha	1,295,738円	797,376円		
	計	53.06ha	7,362,570円	4,530,797円		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																												
	<p>(2) 森林認証 十勝管内17市町村と12森林組合、その他20法人及び個人の森林所有者で とから森林認証協議会を組織し、3月11日に第三者機関による森林認証「SG EC」を取得。町内の民有林2,337haの森林認証を受けた。</p> <p>2. 林業関係団体負担金</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 北海道治山林道協会十勝支部負担金</td> <td>53,000円</td> </tr> <tr> <td>(2) 十勝流域森林・林業活性化センター負担金</td> <td>38,000円</td> </tr> <tr> <td>(3) 北海道造林協会負担金</td> <td>46,000円</td> </tr> <tr> <td>(4) 森林整備担い手対策推進事業負担金</td> <td>39,625円</td> </tr> <tr> <td>(5) とから森林認証協議会負担金</td> <td>130,200円</td> </tr> </table> <p>3. 有害鳥獣駆除事業 エゾシカの生息環境等の変化に伴い農業被害が広範囲で発生しており、猟友会の協 力を得て個体数調整捕獲や巡回などの対策を実施しているが、猟友会会員の減少など 捕獲の担い手不足が課題である。 エゾシカ被害の軽減対策として、士幌町農業協同組合との共同事業である地域エゾ シカ対策事業として「くくりわな」による捕獲を実施した。 キツネやカラスによる農畜産業被害や生活環境被害の対策として、箱わなによる捕 獲を通年実施した。 平成22年度に組織した士幌町鳥獣被害防止対策協議会（構成団体：士幌町農業協 同組合、十勝大雪森林組合、猟友会士幌部会、十勝総合振興局農業改良普及センター 十勝北部支所、士幌町）では、有害鳥獣の一斉捕獲など鳥獣被害防止対策を行った。 有害鳥獣捕獲状況 (単位：頭、羽)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鳥獣区分</th> <th>ヒグマ</th> <th>エゾシカ</th> <th>キツネ</th> <th>カラス</th> <th>ドバト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年度</td> <td>1</td> <td>118</td> <td>76</td> <td>60</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td></td> <td>99</td> <td>78</td> <td>51</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td></td> <td>117</td> <td>74</td> <td>98</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <table border="0"> <tr> <td>(1) 猟友会有害鳥獣駆除助成金</td> <td>91,000円</td> </tr> <tr> <td>(2) 有害鳥獣捕獲報償費</td> <td>1,090,400円</td> </tr> <tr> <td>(3) キツネ捕獲等委託料</td> <td>564,000円</td> </tr> <tr> <td>(4) カラス捕獲檻管理委託料</td> <td>390,000円</td> </tr> <tr> <td>(5) 地域エゾシカ対策事業助成金</td> <td>27,950円</td> </tr> </table>	(1) 北海道治山林道協会十勝支部負担金	53,000円	(2) 十勝流域森林・林業活性化センター負担金	38,000円	(3) 北海道造林協会負担金	46,000円	(4) 森林整備担い手対策推進事業負担金	39,625円	(5) とから森林認証協議会負担金	130,200円	鳥獣区分	ヒグマ	エゾシカ	キツネ	カラス	ドバト	27年度	1	118	76	60	3	26年度		99	78	51	23	25年度		117	74	98	15	(1) 猟友会有害鳥獣駆除助成金	91,000円	(2) 有害鳥獣捕獲報償費	1,090,400円	(3) キツネ捕獲等委託料	564,000円	(4) カラス捕獲檻管理委託料	390,000円	(5) 地域エゾシカ対策事業助成金	27,950円
(1) 北海道治山林道協会十勝支部負担金	53,000円																																												
(2) 十勝流域森林・林業活性化センター負担金	38,000円																																												
(3) 北海道造林協会負担金	46,000円																																												
(4) 森林整備担い手対策推進事業負担金	39,625円																																												
(5) とから森林認証協議会負担金	130,200円																																												
鳥獣区分	ヒグマ	エゾシカ	キツネ	カラス	ドバト																																								
27年度	1	118	76	60	3																																								
26年度		99	78	51	23																																								
25年度		117	74	98	15																																								
(1) 猟友会有害鳥獣駆除助成金	91,000円																																												
(2) 有害鳥獣捕獲報償費	1,090,400円																																												
(3) キツネ捕獲等委託料	564,000円																																												
(4) カラス捕獲檻管理委託料	390,000円																																												
(5) 地域エゾシカ対策事業助成金	27,950円																																												
9. 林 道 費	<p>林道整備は、森林の多面的機能を維持的に発揮していくための基盤であり、持続可能 な森林経営を実現するために簡易で丈夫な使いやすい道づくりを進め、林業の生産向上 に努めており、本年度は、森林環境保全整備事業国庫補助事業道営林道「ワッカ美加登 線」により、開設延長360mが実施された。</p> <p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国・道補助金</th> <th>町負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負 担 内 訳</td> <td>32,563</td> <td>10,854</td> </tr> </tbody> </table>		国・道補助金	町負担金	負 担 内 訳	32,563	10,854																																						
	国・道補助金	町負担金																																											
負 担 内 訳	32,563	10,854																																											
10. そ の 他	<p>コミュニティーセンター利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用延べ団体数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>650 団体</td> <td>8,602 人</td> </tr> </tbody> </table>	利用延べ団体数	利用人数	650 団体	8,602 人																																								
利用延べ団体数	利用人数																																												
650 団体	8,602 人																																												